

回答欄について

(選択)

⇒プルダウンメニューから1つ選んでください

⇒該当する選択肢の横に○印

⇒文字等を入力してください

※他設問の回答状況により、回答が不要な設問はグレーに塗りつぶされます。

※回答した値を削除したい場合は、キーボードの「Delete」キーを使用してください。

福祉用具貸与価格の適正化に関するアンケート調査【事業所票】

<回答上の注意>

■ ご記入にあたってのご注意

- 本調査は、福祉用具貸与と事業所における上限価格設定の影響や経営状況、サービス提供にあたっての事業所の方針等、事業所全体に関わる実態を把握することを目的とするアンケート調査です。
貴法人または事業所において、上記の通り経営状況や、事業所の方針等、事業所全体に関する詳細を把握されている方にご回答をお願いいたします。
- 上記の方法にて、**令和6年10月25日(金)17時**までにご回答をお願いいたします。
- ご記入済の調査票は <https://en.surece.co.jp/2409rental/> からアップロードをお願いします。

■ 調査に関するお問い合わせ先

「福祉用具貸与価格の適正化に関するアンケート調査」事務局

電話：0120-XXX-XXX（平日9:30～17:30）※お問い合わせの際に、調査名をお伝えください。

株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部

問1 基本情報

1 法人について

(1) 法人全体の福祉用具貸与事業所数

事業所

(2) 法人全体の売上(令和5年度分)

千円

(3) (2)のうち、福祉用具貸与に関する売上(令和5年度分)

千円

2 事業所について

(1) 事業所開設年

西暦 年

(2) 介護保険による福祉用具貸与件数と委託先（レンタル卸等）を使用した貸与件数

	①介護保険による福祉用具貸与件数				②うち、委託先（レンタル卸等）を使用した貸与件数			
	令和5年4月分		令和6年4月分		令和5年4月分		令和6年4月分	
車いす		件		件		件		件
車いす付属品		件		件		件		件
特殊寝台		件		件		件		件
特殊寝台付属品		件		件		件		件
床ずれ防止用具		件		件		件		件
体位変換器		件		件		件		件
手すり		件		件		件		件
スロープ		件		件		件		件
歩行器		件		件		件		件
歩行補助杖		件		件		件		件
認知症老人徘徊感知機器		件		件		件		件
移動用リフト		件		件		件		件
自動排泄処理装置		件		件		件		件

(3) 事業所の売上比率

	令和5年4月分		令和6年4月分	
1. 福祉用具貸与による売上		割		割
2. 福祉用具販売による売上		割		割
3. 住宅改修による売上		割		割
4. 上記以外の売上（介護保険外の事業含む）		割		割

(4) 委託先（レンタル卸等）

契約している委託先（レンタル卸等）数 社

(5) 委託先（レンタル卸等）の選定理由【複数選択可】

☐	1. より価格の安い事業者を選定している
☐	2. 取扱商品数が多い事業者を選定している
☐	3. サービス内容により事業者を選定している
☐	4. スピーディな対応をしてくれる事業者を選定している
☐	5. 近隣に事業所を持つ事業者を選定している
☐	6. 契約先が限られているため選択の余地はない
☐	7. その他（ ）

		(6) 事業所としての福祉用具貸与価格の決定要因【複数選択可】	
			1. 仕入（購入・レンタル卸）価格
			2. 近隣の他事業所の他の同一種目・類似機能の機器の価格
			3. 全国平均貸与価格
			4. 貸与価格の上限
			5. 法人が決定
			6. 事業所内の他の同一種目・類似機能の機器の価格
			7. アセスメントに係る経費
			8. フィッティングに係る経費
			9. モニタリングに係る経費
			10. 搬入出に係る経費
			11. メンテナンスに係る経費
			12. 消毒に係る経費
			13. その他経費（上記7～12以外）
			14. その他（
	(7) サービス提供している地域（保険者）		
		保険者	

問2 職員体制

1	職員数	※実人数	令和3年4月※	令和6年4月	※令和3年4月以降事業開始した場合は、「0」とご回答ください。
	福祉用具専門相談員		人	人	※管理者の方も、福祉用具専門相談員として勤務されている場合はこちらに回答ください。
	事務員等		人	人	
2	サービス提供体制				
	(選択)	1. 一連のサービスプロセスを同一の福祉用具専門相談員が提供している			
		2. 一連のサービスプロセスを複数の福祉用具専門相談員がチームとして提供している			
		3. サービスプロセス毎に担当を分けている（営業担当、モニタリング専任など）			
		4. その他（			

問3 令和6年4月からの貸与価格の上限見直しによる対応状況

1	貸与価格の上限見直しを理由に実施した内容	
	(1) 貸与価格の上限を超えた品目の有無	
	(選択)	1. 有 → (2)へ
		2. 無 → 問4へ
	(2) 【(1)で1の場合】貸与価格等の変更対応の実績	
	(選択)	1. 今回が初回対応である
		2. 複数回対応したことがある → 平成30年度以降
		回
	(3) 種目別の見直しの状況	

車いす

①	貸与価格の上限を超えた商品の有無	
	(選択)	1. 有
		2. 無
②	貸与価格の見直し	
	(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
		2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
		3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
		4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③	【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由【複数選択可】	
		1. 上限価格を超えていたため
		2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
		3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
		4. 事業所における採算性を考慮したため
		5. 貸与価格の上限を参考にしたため
		6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
		7. 地域における相場を参考にしたため
		8. その他（
④	【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由【複数選択可】	
		1. 上限価格を超えた商品がなかったため
		2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
		3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
		4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
		5. その他（

車いす付属品

①	貸与価格の上限を超えた商品の有無	
	(選択)	1. 有
		2. 無
②	貸与価格の見直し	
	(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
		2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
		3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
		4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ

				③【②で１～３の場合】貸与価格の見直しを実施した理由【複数選択可】
				1. 上限価格を超えていたため
				2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
				3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
				4. 事業所における採算性を考慮したため
				5. 貸与価格の上限を参考にしたため
				6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
				7. 地域における相場を参考にしたため
				8. その他（
				④【②で４の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由【複数選択可】
				1. 上限価格を超えた商品がなかったため
				2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
				3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
				4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
				5. その他（

特殊寝台

① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
(選択) 1. 有
2. 無
② 貸与価格の見直し
(選択) 1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③【②で１～３の場合】貸与価格の見直しを実施した理由【複数選択可】
1. 上限価格を超えていたため
2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
4. 事業所における採算性を考慮したため
5. 貸与価格の上限を参考にしたため
6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
7. 地域における相場を参考にしたため
8. その他（
④【②で４の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由【複数選択可】
1. 上限価格を超えた商品がなかったため
2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
5. その他（

特殊寝台付属品

① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
(選択) 1. 有
2. 無
② 貸与価格の見直し
(選択) 1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③【②で１～３の場合】貸与価格の見直しを実施した理由【複数選択可】
1. 上限価格を超えていたため
2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
4. 事業所における採算性を考慮したため
5. 貸与価格の上限を参考にしたため
6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
7. 地域における相場を参考にしたため
8. その他（
④【②で４の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由【複数選択可】
1. 上限価格を超えた商品がなかったため
2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
5. その他（

床ずれ防止用具

① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
(選択) 1. 有
2. 無

② 貸与価格の見直し	
(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ 2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ 3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ 4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えていたため
☐	2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
☐	3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
☐	4. 事業所における採算性を考慮したため
☐	5. 貸与価格の上限を参考にしたため
☐	6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
☐	7. 地域における相場を参考にしたため
☐	8. その他 ()
④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えた商品がなかったため
☐	2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
☐	3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
☐	4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
☐	5. その他 ()

体位変換器

① 貸与価格の上限を超えた商品の有無	
(選択)	1. 有 2. 無
② 貸与価格の見直し	
(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ 2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ 3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ 4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えていたため
☐	2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
☐	3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
☐	4. 事業所における採算性を考慮したため
☐	5. 貸与価格の上限を参考にしたため
☐	6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
☐	7. 地域における相場を参考にしたため
☐	8. その他 ()
④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えた商品がなかったため
☐	2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
☐	3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
☐	4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
☐	5. その他 ()

手すり

① 貸与価格の上限を超えた商品の有無	
(選択)	1. 有 2. 無
② 貸与価格の見直し	
(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ 2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ 3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ 4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えていたため
☐	2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
☐	3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
☐	4. 事業所における採算性を考慮したため
☐	5. 貸与価格の上限を参考にしたため
☐	6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
☐	7. 地域における相場を参考にしたため
☐	8. その他 ()
④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由	【複数選択可】
☐	1. 上限価格を超えた商品がなかったため
☐	2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
☐	3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
☐	4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
☐	5. その他 ()

	スロープ		
	① 貸与価格の上限を超えた商品の有無		
	(選択)	1. 有	
		2. 無	
	② 貸与価格の見直し		
	(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ	
		2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ	
		3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ	
		4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ	
	③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由 【複数選択可】		
		1. 上限価格を超えていたため	
		2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため	
		3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため	
		4. 事業所における採算性を考慮したため	
		5. 貸与価格の上限を参考にしたため	
		6. 全国平均貸与価格を参考にしたため	
		7. 地域における相場を参考にしたため	
		8. その他 ()	
	④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由 【複数選択可】		
		1. 上限価格を超えた商品がなかったため	
		2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため	
		3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため	
		4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため	
		5. その他 ()	
	歩行器		
① 貸与価格の上限を超えた商品の有無			
(選択)	1. 有		
	2. 無		
② 貸与価格の見直し			
(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ		
	2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ		
	3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ		
	4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ		
③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由 【複数選択可】			
	1. 上限価格を超えていたため		
	2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため		
	3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため		
	4. 事業所における採算性を考慮したため		
	5. 貸与価格の上限を参考にしたため		
	6. 全国平均貸与価格を参考にしたため		
	7. 地域における相場を参考にしたため		
	8. その他 ()		
④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由 【複数選択可】			
	1. 上限価格を超えた商品がなかったため		
	2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため		
	3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため		
	4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため		
	5. その他 ()		
歩行補助つえ			
① 貸与価格の上限を超えた商品の有無			
(選択)	1. 有		
	2. 無		
② 貸与価格の見直し			
(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ		
	2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ		
	3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ		
	4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ		
③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由 【複数選択可】			
	1. 上限価格を超えていたため		
	2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため		
	3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため		
	4. 事業所における採算性を考慮したため		
	5. 貸与価格の上限を参考にしたため		
	6. 全国平均貸与価格を参考にしたため		
	7. 地域における相場を参考にしたため		
	8. その他 ()		

			④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由 【複数選択可】
			1. 上限価格を超えた商品がなかったため
			2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
			3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
			4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
			5. その他 ()
認知症老人徘徊感知機器			
			① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
		(選択)	1. 有
			2. 無
			② 貸与価格の見直し
		(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
			2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
			3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
			4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
			③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由 【複数選択可】
			1. 上限価格を超えていたため
			2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
			3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
			4. 事業所における採算性を考慮したため
			5. 貸与価格の上限を参考にしたため
			6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
			7. 地域における相場を参考にしたため
			8. その他 ()
			④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由 【複数選択可】
			1. 上限価格を超えた商品がなかったため
			2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
			3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
			4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
			5. その他 ()
移動用リフト（つり具の部分を除く）			
			① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
		(選択)	1. 有
			2. 無
			② 貸与価格の見直し
		(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
			2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
			3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
			4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ
			③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由 【複数選択可】
			1. 上限価格を超えていたため
			2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため
			3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため
			4. 事業所における採算性を考慮したため
			5. 貸与価格の上限を参考にしたため
			6. 全国平均貸与価格を参考にしたため
			7. 地域における相場を参考にしたため
			8. その他 ()
			④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由 【複数選択可】
			1. 上限価格を超えた商品がなかったため
			2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため
			3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため
			4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため
			5. その他 ()
自動排泄処理装置			
			① 貸与価格の上限を超えた商品の有無
		(選択)	1. 有
			2. 無
			② 貸与価格の見直し
		(選択)	1. 貸与価格の上限を超えた商品のみ貸与価格を見直した（価格を下げた） →③へ
			2. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を下げた商品が多い） →③へ
			3. 取扱い商品全てを対象に貸与価格を見直した（価格を上げた商品が多い） →③へ
			4. 貸与価格の見直しは実施していない →④へ

			③【②で1～3の場合】貸与価格の見直しを実施した理由【複数選択可】	
			1. 上限価格を超えていたため	
			2. 商品の調達価格が上がった（下がった）ため	
			3. 事業所としての諸経費が上がった（下がった）ため	
			4. 事業所における採算性を考慮したため	
			5. 貸与価格の上限を参考にしたため	
			6. 全国平均貸与価格を参考にしたため	
			7. 地域における相場を参考にしたため	
			8. その他（	
			④【②で4の場合】貸与価格の見直しを実施していない理由【複数選択可】	
			1. 上限価格を超えた商品がなかったため	
			2. 予め上限価格を超えることがない価格設定だったため	
			3. 価格を変更すると利用者負担に影響があるため	
			4. 価格を変更すると事務負担等が増えるため	
			5. その他（	
			(4) 取扱い商品の見直し	
		(選択)	1. 取扱い商品の種類を縮小した	
			2. 取扱い商品の種類を拡大した	
			3. 取扱い商品の見直しは実施していない	
			(5) 仕入先との価格交渉	
		(選択)	1. 実施した	
			2. 実施していない	
			3. 直接仕入れている商品はない（自社在庫による貸与はない）	
			(6) 仕入先の変更	
		(選択)	1. 実施した	
			2. 実施していない	
			3. 直接仕入れている商品はない（自社在庫による貸与はない）	
			(7) 仕入方法の変更【複数選択可】	
			1. 法人としての一括仕入れを開始した	
			2. 他法人との共同購入を開始した	
			3. 業界団体等を通じた共同購入を開始した	
			4. 変更していない	
			5. 直接仕入れている商品はない（自社在庫による貸与はない）	
			(8) 委託先（レンタル卸等）との価格交渉	
		(選択)	1. 実施した	
			2. 実施していない	
			3. 委託先（レンタル卸等）の利用はない	
			(9) 委託先（レンタル卸等）の利用比率の見直し	
		(選択)	1. 利用率を上げた	
			2. 利用率を下げた	
			3. 委託先（レンタル卸等）の利用はない	
			(10) 委託先（レンタル卸等）の変更	
		(選択)	1. 実施した	
			2. 実施していない	
			3. 委託先（レンタル卸等）の利用はない	
			(11) サービス提供地域の見直し	
		(選択)	1. サービス提供地域を縮小した	
			2. サービス提供地域を拡大した	
			3. 変更はない	
			(12) 営業所の統廃合	
		(選択)	1. 実施した（実施する予定がある）	
			2. 実施していない（現時点で予定はない）	
			2 令和6年4月からの貸与価格の見直しを理由に実施した事務作業	
			(1) 事業所内で実施した事務作業	
			(2) 貸与価格の見直しを理由とした事務作業に対応するための工夫	
			(1) 事業所内で実施した事務作業	(2) 貸与価格の見直しを理由とした事務作業に対応するための工夫【複数選択可】
		① カタログの刷新	(選択) 1. 実施した	1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない	2. 法人本部で一括対応している
				3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
				4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
				5. その他（
		② システム改修	(選択) 1. 実施した	1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない	2. 法人本部で一括対応している
				3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
				4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
				5. その他（

	③ 契約変更手続き	(選択)	1. 実施した		1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない		2. 法人本部で一括対応している
					3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
					4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
	④ 利用者への貸与価格変更に関する説明文書の作成	(選択)	1. 実施した		1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない		2. 法人本部で一括対応している
					3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
					4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
	⑤ 介護支援専門員への貸与価格変更に関する説明文書の作成	(選択)	1. 実施した		1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない		2. 法人本部で一括対応している
					3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
					4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
	⑥ 介護支援専門員への貸与価格変更に関する説明の実施	(選択)	1. 実施した		1. 貸与価格の見直しの都度変更が発生しないようにしている
			2. 実施していない		2. 法人本部で一括対応している
					3. 外部に委託することで事業所内での負担を軽減している
					4. 変更点のみ変更する様式等を用意している
(3) 上記以外に貸与価格の見直しを理由として実施した事務作業 (自由記述)					

3 貸与価格の見直しを理由に変更した事業所としての方針（利用者の状態が安定している場合）

(1) モニタリングの訪問頻度の変更 【複数選択可】

(選択)	1. 次回訪問までの平均的な期間を延長した（例：3か月に1回を半年に1回とした）
	2. 次回訪問までの平均的な期間を短縮した（例：半年に1回を3か月に1回とした）
	3. 変更していない
→ 上記1, 2を選択した理由	福祉用具専門相談員の実践的な判断
	福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

(2) モニタリングの訪問時の対応内容の変更 【複数選択可】

(選択)	1. 変更した（簡素化した）
	2. 変更した（より手厚くした）
	3. 変更していない
→ 上記1, 2を選択した理由	福祉用具専門相談員の実践的な判断
	福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

(3) メンテナンスの訪問頻度の変更 【複数選択可】

(選択)	1. 定期訪問の期間を延長した（例：3か月に1回を半年に1回とした）
	2. 定期訪問の期間を短縮した（例：半年に1回を3か月に1回とした）
	3. 変更していない
→ 上記1, 2を選択した理由	福祉用具専門相談員の実践的な判断
	福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

(4) メンテナンスの訪問時の対応内容の変更 【複数選択可】

(選択)	1. 変更した（簡素化した）
	2. 変更した（より手厚くした）
	3. 変更していない
→ 上記1, 2を選択した理由	福祉用具専門相談員の実践的な判断
	福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

(5) サービス提供体制 【複数選択可】

	1. 利用者へのサービス提供体制・役割分担を見直した
	2. 福祉用具専門相談員1人あたりの担当人数を増やした
	3. 福祉用具専門相談員1人あたりの担当人数を減らした
	4. 福祉用具専門相談員の担当エリア・訪問ルートを見直した
	5. 上記いずれも、変更していない
→ 上記1～4を選択した理由	福祉用具専門相談員の実践的な判断
	福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

(6) 上記以外に貸与価格の見直しを理由に変更した事業所としての方針 (自由記述)

--

問4 事業所の経営への影響

1 令和6年4月からの貸与価格の上限見直しによる経営への影響

(1) 福祉用具貸与に関する収益への影響

(選択)	1. 収益が増加した → (2)へ
	2. 収益が減少した → (3)へ
	3. 影響はなかった → 2へ

	(2) 【(1)で1の場合】収益が増加した主な理由 【複数選択可】	
	1. 利用者数が増加しているため 2. 上限見直しの対象商品以外の貸与価格も見直したため 3. 利用者1人あたりの貸与件数が増えたため 4. 利用者1人あたりの貸与額が増えたため 5. その他 ()	
	(3) 【(1)で2の場合】収益が減少した主な理由 【複数選択可】	
	1. 利用者数が減少しているため 2. 上限見直しにより貸与価格を下げた商品が多いため 3. 利用者1人あたりの貸与件数が減ったため 4. 貸与と販売の選択制の導入により販売を選択した利用者が多いため 5. その他 ()	
	2 事業における諸経費の変化 ※令和3年4月の実績を基準とし、令和6年4月の実績について回答してください。	
	(1) 人件費の変化（事務職員等、全てを含む）	
	(選択) 1. 5%以上増加 2. 3～5%未満増加 3. 1～3%未満増加 4. 概ね変化なし（1%未満増加～1%未満減少） 5. 1～3%未満減少 6. 3～5%未満減少 7. 5%以上減少 8. 令和3年4月時点で事業開始していない	
	(2) 委託費の変化（レンタル卸等の費用を含む）	
	(選択) 1. 5%以上増加 2. 3～5%未満増加 3. 1～3%未満増加 4. 概ね変化なし（1%未満増加～1%未満減少） 5. 1～3%未満減少 6. 3～5%未満減少 7. 5%以上減少 8. 令和3年4月時点で事業開始していない	
	(3) 賃借料の変化（事務所、倉庫、駐車場を含む）	
	(選択) 1. 5%以上増加 2. 3～5%未満増加 3. 1～3%未満増加 4. 概ね変化なし（1%未満増加～1%未満減少） 5. 1～3%未満減少 6. 3～5%未満減少 7. 5%以上減少 8. 令和3年4月時点で事業開始していない	
	(4) 通信運搬費の変化	
	(選択) 1. 5%以上増加 2. 3～5%未満増加 3. 1～3%未満増加 4. 概ね変化なし（1%未満増加～1%未満減少） 5. 1～3%未満減少 6. 3～5%未満減少 7. 5%以上減少 8. 令和3年4月時点で事業開始していない	
	(5) 水道光熱費の変化	
	(選択) 1. 5%以上増加 2. 3～5%未満増加 3. 1～3%未満増加 4. 概ね変化なし（1%未満増加～1%未満減少） 5. 1～3%未満減少 6. 3～5%未満減少 7. 5%以上減少 8. 令和3年4月時点で事業開始していない	
	(6) その他、上記以外に負担が大きい経費 （自由記述）	
	(7) 職員の賃金改善の状況（複数回答可）	
	1. 賃金のベースアップや定期昇給を実施している 2. 手当の追加支給、手当額を引き上げている 3. 賞与や一時金の追加支給、支給額を引き上げている 4. その他 ()	

問 5 一部の福祉用具における貸与と販売の選択制の導入

1 令和 6 年 4 月～ 8 月のうち、選択制の対象となった利用者数

新規利用者について（福祉用具貸与が初めてケアプランに位置付けられた利用者）

※①がいずれも 0 人の場合は（4）へ

	（1）福祉用具貸与が初めてケアプランに位置付けられた利用者における実績		（2）利用者が購入を選択する際の決め手（最も多い理由）	（3）福祉用具貸与が初めてケアプランに位置付けられた利用者における特定福祉用具販売の支給限度基準額への影響
	①対象となった人数	②購入を選択した人数		
固定用スロープ	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）	(選択) 1. 年間の支給限度基準額以内の利用者が多い 2. 年間の支給限度基準額を超えた利用者が多い 3. わからない
歩行器（歩行車を除く）	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）	(選択) 1. 年間の支給限度基準額以内の利用者が多い 2. 年間の支給限度基準額を超えた利用者が多い 3. わからない
単点杖（松葉づえを除く）	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）	(選択) 1. 年間の支給限度基準額以内の利用者が多い 2. 年間の支給限度基準額を超えた利用者が多い 3. わからない
多点杖	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）	(選択) 1. 年間の支給限度基準額以内の利用者が多い 2. 年間の支給限度基準額を超えた利用者が多い 3. わからない

貸与継続利用者について（令和 6 年 4 月より前から福祉用具貸与サービスを利用していた利用者）

※①がいずれも 0 人の場合は 2 へ

	（4）継続利用者における実績		（5）利用者が購入を選択する際の決め手（最も多い理由）
	①対象となった人数	②購入を選択した人数	
固定用スロープ	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）
歩行器（歩行車を除く）	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）
単点杖（松葉づえを除く）	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）
多点杖	人	人	(選択) 1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低いため 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）

	2 選択制の導入に伴う対応事項・主な実施者	
	(1) 選択制の対象福祉用具の提供に係る利用者等への説明・提案	
	(選択)	1. 福祉用具専門相談員
		2. 介護支援専門員
	(2) 医師やリハビリテーション専門職等の所見の入手	
	(選択)	1. 福祉用具専門相談員
		2. 介護支援専門員
	(3) 医師やリハビリテーション専門職等の所見を踏まえた多職種の協議方法	
	(選択)	1. サービス担当者会議の開催
		2. 多職種の意見照会
		3. その他 ()
	3 選択制の導入に関する介護支援専門員の認知状況	
	(1) 認知していない居宅介護支援事業所の有無	
	(選択)	1. あった
		2. なかった
	(2) 介護支援専門員の反応 【複数選択可】	
		1. 価格についての問合せが増えた
		2. 商品についての問合せが増えた
	3. 商品の変更が求められた	
	4. ケアプランの見直しが実施された	
	5. 特にない	
4 保険者の対応		
(1) 一部の福祉用具における貸与と販売の選択制導入に関する保険者からの説明 【複数選択可】		
	1. 説明会があった	
	2. 文書等による案内があった	
	3. 事業所から問合せを行い説明を受けた	
	4. 特にない	
	5. その他 ()	
(2) 一部の福祉用具における貸与と販売の選択制導入に関する保険者の方針		
(選択)	1. 選択制の提案に影響を与える方針は示されていない	
	2. 選択肢の提案にあたり販売を優先する傾向がある	
	3. その他 ()	
(3) 販売が選択された場合の保険者への対応 【複数選択可】		
	1. 利用者に選択制の説明をする前に事前に相談が必要である	
	2. 販売を選択された場合、販売前に保険者へ事前相談が必要である	
	3. 保険者への対応は介護支援専門員が実施している	
	4. 通常の販売に関する手続き以外、対応していることはない	
	5. その他 ()	

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

回答欄について

- (選択) ⇒プルダウンメニューから1つ選んでください
 ⇒該当する選択肢の横に○印
 ⇒文字等を入力してください

※他設問の回答状況により、回答が不要な設問はグレーに塗りつぶされます。
 ※回答した値を削除したい場合は、キーボードの「Delete」キーを使用してください。

福祉用具貸与価格の適正化に関するアンケート調査【利用者状況調査票】

<回答上の注意>

■ ご記入にあたってのご注意

- 本調査票は、調査対象の利用者を担当している福祉用具専門相談員の方が回答してください。
1事業所あたり2名について回答をお願いします。調査票はファイルをコピーして使用してください。（回答にあたっては、冒頭の調査対象区分を選択してください）
- 上記の方法にて、**令和6年10月25日（金）17時**までにご回答をお願いいたします。
- ご記入済の調査票は <https://en.surece.co.jp/2409rental/> からアップロードをお願いします。

■ 調査に関するお問い合わせ先

「福祉用具貸与価格の適正化に関するアンケート調査」事務局
 電話：0120-XXX-XXX（平日9:30～17:30）※お問い合わせの際に、調査名をお伝えください。
 株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア事業本部

調査対象区分

(選択)

1. 継続利用者
 2. 新規利用者

問1 利用者の方の基本情報

1 性別

- (選択) 1. 男性
 2. 女性

2 年齢

歳

3 世帯構成

- (選択) 1. 独居
 2. 夫婦のみの世帯
 3. 2人以上で高齢者のみの世帯
 4. 三世帯同居
 5. その他 ()

4 主たる介護者

- (選択) 1. 同居の家族等がケアを提供している
 2. 別居の家族等がケアを提供している
 3. ケアを提供している家族等はいない
 4. わからない

5 要介護度

- (選択) 1. 要支援1
 2. 要支援2
 3. 要介護1
 4. 要介護2
 5. 要介護3
 6. 要介護4
 7. 要介護5
 8. 区分申請変更中など

6 障害高齢者の日常生活自立度

- (選択) 1. 自立
 2. J1
 3. J2
 4. A1
 5. A2
 6. B1
 7. B2
 8. C1
 9. C2
 10. 不明

7 認知症高齢者の日常生活自立度	
(選択)	1. 自立 2. I 3. II a 4. II b 5. III a 6. III b 7. IV 8. M 9. 不明
8 自己負担割合	
(選択)	1. 1割負担 2. 2割負担 3. 3割負担 4. 負担なし
9 福祉用具貸与サービス自体の利用開始時期（貴事業所との初回契約年） ※継続利用者のみ回答	
西暦	年
10 貸与している種目 【複数選択可】	
	1. 車いす（付属品含む） 2. 特殊寝台（付属品含む） 3. 床ずれ防止用具 4. 体位変換器 5. 手すり 6. スロープ 7. 歩行器 8. 歩行補助つえ 9. 認知症老人徘徊感知機器 10. 移動用リフト 11. 自動排泄処理装置 12. なし
11 福祉用具貸与サービス以外の介護保険サービス（介護予防含む）の利用状況 【複数選択可】	
	1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 通所介護（地域密着型を含む） 6. 通所リハビリテーション 7. 短期入所生活介護 8. 短期入所療養介護 9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 10. 夜間対応型訪問介護 11. 認知症対応型通所介護 12. 小規模多機能型居宅介護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 特になし 15. わからない
12 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況 【複数選択可】	
	1. 訪問介護（訪問介護員による身体介護、生活援助） 2. 訪問型サービスA（生活援助等） 3. 訪問型サービスB（地域主体の自主活動として行う生活援助等） 4. 訪問型サービスC（保健師等による居宅での相談指導等） 5. 訪問型サービスD（移送前後の生活支援） 6. 通所介護（生活機能の向上のための機能訓練） 7. 通所型サービスA（ミニデイサービス、運動・レクリエーション 等） 8. 通所型サービスB（体操、運動等の活動など、自主的な通いの場） 9. 通所型サービスC（生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム） 10. 特になし 11. わからない
13 上記11、12.以外のインフォーマルサービスの利用状況 【複数選択可】	
	1. 自費ヘルパー・家事代行サービス等訪問サービス 2. 通院付き添い等外出・移動に関するサービス 3. 地域の老人会活動等、地域で提供されているサービス 4. その他のサービス 5. 特になし 6. わからない

※継続利用者のみ回答

(1) 貸与価格の見直しの実施状況 【複数選択可】

- (2) 【(1)で1・2を選択した場合】 価格の変更時の対応 【複数選択可】

- (3) 【(2)で1・2を選択した場合】価格の変更や貸与の取りやめの対応をとった理由【複数選択可】

- 2 貸与価格の見直し（一部商品の価格変更）に伴う福祉用具貸与事業所の対応

- (1) 当該利用者に対するモニタリングのための訪問の頻度

- 上記 1 または 3 を選択した理由

福祉用具専門相談員の実践的な判断

福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

- (2) 当該利用者に対するメンテナンスのための訪問の頻度

- 上記 1 または 3 を選択した理由

福祉用具専門相談員の実践的な判断

福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

- (3) 当該利用者からの日常的な相談対応（電話による問合せ等）

- 上記 1 または 3 を選択した理由

福祉用具専門相談員の実践的な判断

福祉用具専門相談員の実践的判断以外の理由 ()

1 選択制導入による利用者の判断

- (1) 貸与と販売の選択制の対象となった種目

※利用開始時期は、継続利用者のみ回答（福祉用具貸与として借り始めた時期）

固定用スロープ		個	→	利用開始	西暦		年
歩行器（歩行車を除く）		個	→	利用開始	西暦		年
単点杖（松葉づえを除く）		個	→	利用開始	西暦		年
多点杖		個	→	利用開始	西暦		年

- (2) 利用者が購入を選択した種目

- | | |
|------|-------|
| (選択) | 1. あり |
| | 2. なし |

- (3) 【(2)で1を選択した場合】

- | 利用者が購入を選択した種目 | | |
|---------------|--|---|
| 固定用スロープ | | 個 |

- (4) 【(3) で1個以上の回答を入力した場合】

利用者が購入を選択した決め手（最も重視された理由）

- (選択)
1. 長期利用が想定されるため
 2. メンテナンスの必要性が低いため
 3. 価格が安価なため
 4. 介護支援専門員等から勧められたため
 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため
 6. その他 ()

- | | | |
|-------------|--|---|
| 歩行器（歩行車を除く） | | 個 |
|-------------|--|---|

- (選択)
1. 長期利用が想定されるため
 2. メンテナンスの必要性が低いため
 3. 価格が安価なため
 4. 介護支援専門員等から勧められたため
 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため
 6. その他 ()

	単点杖（松葉づえを除く）		個	(選択)	1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低い 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）
	多点杖		個	(選択)	1. 長期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性が低い 3. 価格が安価なため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）
(5) 【(4)で1を選択した場合】長期利用が想定される理由 【複数選択可】					
		1. 身体機能に大きな変化がないと想定されるため 2. 介護環境に大きな変化がないと想定されるため 3. 住環境に大きな変化がないと想定されるため 4. その他（ ）			
(6) 【(2)で2を選択した場合】貸与を継続した理由					
		1. 短期利用が想定されるため 2. メンテナンスの必要性があるため 3. 価格が高額であるため 4. 介護支援専門員等から勧められたため 5. 医師やリハビリテーション職等の意見があったため 6. その他（ ）			
2 選択制に関する説明・提案の対応					
(1) 選択制の対象福祉用具の提供に係る利用者等への説明・提案					
	(選択)	1. 福祉用具専門相談員 2. 介護支援専門員			
(2) 医師やリハビリテーション専門職等の所見の入手					
	(選択)	1. 福祉用具専門相談員 2. 介護支援専門員			
(3) 所見を入手した医師やリハビリテーション専門職の詳細					
	(選択)	1. 入院先の主治医・かかりつけ医 2. 外来の主治医・かかりつけ医 3. 入所していた介護保険施設の主治医・かかりつけ医 4. 医療機関（病院・診療所）のリハビリテーション職（PT・OT・ST） 5. 介護サービス事業所のリハビリテーション職（PT・OT・ST） 6. 入所していた介護保険施設のリハビリテーション職（PT・OT・ST） 7. その他（ ）			
(4) 医師やリハビリテーション専門職等の所見を踏まえた多職種の協議方法					
	(選択)	1. サービス担当者会議の開催 2. 多職種の意見照会 3. その他（ ）			
(5) 選択制の提案を行う上で、福祉用具専門相談員として工夫した点 （自由記述）					
(6) 選択制の提案を行う上で、福祉用具専門相談員として苦労した点 （自由記述）					
3 購入を選択した利用者について					
(1) 特定福祉用具販売計画における目標の達成状況の確認					
	(選択)	1. 実施した	→	販売後	カ月後に実施
		2. 実施していない	→	販売後	カ月後に実施予定
(2) 使用方法の指導の実施有無					
	(選択)	1. 利用者から依頼があり実施 2. 介護支援専門員等から依頼があり実施 3. 福祉用具貸与の商品に対するモニタリングと一緒に実施 4. 実施していない			

		(3) 販売した商品による事故の有無		
		(選択)	1. あった	
			2. 現時点ではない	
			3. わからない	
			(4) 販売した商品によるヒヤリ・ハットの有無	
			(選択)	1. あった
				2. 現時点ではない
		3. わからない		

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。